

【5級・解説】

リスニング

PARTE I (N1 – N4)

N 1 b

【正答率】 76.5%

F1: Tu, Lorenzo, mangi tutto?

M1: No, non tutto. Io non mangio né carne, né pesce. Sono vegetariano. Mangio solo verdure, uova e formaggi.

【訳】(女 1) ロレンツォ、あなたは何でも食べるの？(男 1) いや、何でもじゃないよ。僕は肉も魚も食べない。ベジタリアンなんだ。食べるのは野菜、卵、チーズだけだよ。

N 2 d

【正答率】 82.8%

F1: E tu, Caterina?

F2: Io invece mangio carne quasi tutti i giorni. Mi piace molto, e anche ai miei figli. Però mangiamo anche molte verdure.

【訳】(女 1) じゃあカテリーナ、あなたは？(女 2) 私はそれに引きかえ、肉をほとんど毎日食べるわ。私は大好きだし、うちの子供たちもだし。でも私たちは野菜もたくさん食べるわ。

N 3 a

【正答率】 87.0%

F1: E tu, Antonella? Anche tu mangi molta carne?

F3: Veramente no, non spesso. Io preferisco il pesce. E non mi piacciono molto neanche le verdure, solo i pomodori e le carote.

【訳】(女 1) じゃあアントネッラ、あなたは？あなたもたくさんの肉を食べる？(女 3) 実は違うわ、ひんぱんにではないわ。私は魚の方が好きよ。それに野菜もそれほど好きじゃなくて、トマトとニンジンだけよ。

N 4 c

【正答率】 85.6%

F1: E tu, Francesco?

M2: Io a tavola non ho problemi, mangio di tutto. La carne, il pesce, le verdure... Ma soprattutto mi piacciono i formaggi. Da morire.

【訳】(女 1) じゃあフランチェスコ、あなたは？(男 2) 僕は食卓では問題なくて、何でも食べるよ。肉、魚、野菜……。でも特にチーズが好きだよ。たまらないくらい。

PARTE III (N9 – N12)

N 9 a

【正答率】 82.0%

F: Mia figlia gioca sempre con un piccolo gatto di peluche. È un regalo di mia sorella. Le piace proprio tanto. Ci dorme insieme, lo tiene sempre in braccio...

DOMANDA:Qual è sua figlia?

【訳】(女) 私の娘はいつもぬいぐるみの小さな猫と遊んでいます。私の姉 [妹] のプレゼントなのです。娘は本当にとっても気に入っています。一緒に寝るし、いつも腕に抱いているし……。

(問) どれがこの人の娘ですか？

N 10 c

【正答率】 62.0%

F: Io e mio marito abbiamo un negozio nel centro della città. Vendiamo mobili e oggetti per la casa, tutti molto moderni.

DOMANDA:Qual è il loro negozio?

【訳】(女) 私と夫は町の中心街に店を持っています。私たちは家具やインテリア用品を売っています。すべてとても現代的なものばかりです。

(問) どれが彼らの店ですか？

PARTE VI (N19 – N20)

M: A Paola e Franco piace molto cucinare. Così spesso il sabato sera fanno una piccola festa per pochi amici. Paola è molto brava a preparare la pasta e Franco sa cucinare molto bene il pesce. I loro amici di solito portano il dolce e qualche bottiglia di vino. In estate, quando il tempo è bello, cenano all'aperto, in terrazzo.

【訳】パオラとフランコは料理をするのが大好きです。それでしばしば、毎週土曜日の晩には少数の友人のためにちょっとしたパーティーを開きます。パオラはパスタを作るのが得意ですし、フランコは魚料理をととても上手に作れます。彼らの友人たちはたいていお菓子と何本かのワインを持ってきます。夏に、天気がいい時には、彼らは戸外で、テラスで食事をします。

N 19 a

【正答率】 75.9%

【訳】土曜日の晩にはパオラとフランコはしばしば友人たちを招待する

N 20 b

【正答率】 68.7%

【訳】フランコはパスタを、パオラは魚料理を作る

PARTE I (N21 - N40)

N 21 b 【正答率】 70.9%

【訳】赤いペンはその引き出しの中にあります。【解説】場所をあらわす前置詞 **in** は慣用的に冠詞をとまなわないことも多いですが、「引き出しの中に」という場合は冠詞が必要ですから、**in** と定冠詞 **il** の結合した **b) nel** が正解です。**c)**の **dentro** も「～の中に」という意味の前置詞となりますが、ここではやはり冠詞が必要ですので不適切です。

N 22 c 【正答率】 63.4%

【訳】小さな子どもたちは自分たちのお母さんたちと遊んでいます。【解説】子どもたちと「彼らの」母親たちという関係であれば意味のある文になりますから、3人称複数所有形容詞 **loro** が適切です。3人称単数所有形容詞 **suo** 「彼の、彼女の」では、誰を指すかわからず、その人の母親が複数となるのも不自然ですから、不適切です。

N 23 b 【正答率】 60.1%

【訳】私たちは、ふだん、買い物は市場でします。【解説】「市場で」と買い物をする場所を述べると自然な文になりますから、場所をあらわす前置詞 **a** と定冠詞 **il** を結合した **b)**の **al** が正解です。前置詞 **da** で場所をあらわすのは、後ろに「人」を伴い、「人の（いる）ところに」を表現する場合です。

N 24 b 【正答率】 67.6%

【訳】奥さん、あなたはここにいてはいけません。危険です。【解説】敬称の **Lei** を使って話しかけています。主語が **lei** のとき、補助動詞 **potere** の活用形は **può** ですので、**b)**が正解です。

N 25 c 【正答率】 81.2%

【訳】パーティーには行けません、残念です。【解説】**posso** は補助動詞 **potere** 「～できる」が1人称単数に活用した形であり、補助動詞は、後に動詞の不定詞を伴いますので、**c) venire** が適切です。

PARTE II (N41 – N49)

N 41 c 【正答率】 55.4%

【訳】私の息子は9歳で、小学校に通っています。【解説】日本語では「～に通う」と言いますので、方向を示す前置詞 **a** がいるように思われますが、**frequentare** は他動詞ですので、通う場所を直接補語として動詞のすぐ後に置きます。**c)**が適切です。「(～)に行く」という意味の動詞 **andare** は自動詞で、行き先をあらわす際には方向を示す前置詞 **a** や **in** が必要ですから、**a)**は不適切です。また、他動詞 **studiare** の直接補語と

なるのは勉強する対象（科目）ですから、b)では「小学校を勉強する」となってしまい、不適切です。

N 42 a 【正答率】 70.1%

【訳】「今日は私の誕生日です」「本当ですか？ おめでとう！」【解説】a) Auguriは「おめでとう」、b) Piacereは「はじめまして（お会いできて嬉しいです）」、c) Benvenutoは「ようこそ」といった意味をあらわしますので、「誕生日」という文脈に合うのはa)です。

N 43 c 【正答率】 75.1%

【訳】カルロ・ヴェルドーネの新しい映画は本当に面白い。【解説】a)の cinema が映画館あるいは映画というジャンルを意味するのに対し、個々の映画作品のことを言うときは film を使いますので、c)が正解です。b) commedia は「喜劇」という意味で文脈には合いそうですが、女性名詞であるため定冠詞と形容詞が男性形であることに反します。

N 44 c 【正答率】 67.0%

【訳】「すみません、何時か知っていますか？」「5時37分です」【解説】「～時である」と時刻をあらわすとき〈sono le+数〉であらわしますのでc)が正解です。女性複数の定冠詞 le の後には、女性複数の名詞 ore「時」が省略されています。なお、1時だけは単数形で、〈È l' una〉となります。

PARTE III (N50 - N56)

【訳】リーザは23歳で、アブルッツォ州の美しい町、キエーティの出身です。今彼女はローマにいます。彼女が学んでいる大学の近くのマンションに、もう2人のイタリア人の女の子と一緒に暮らしています。彼女は生物学部の四年生です。ローマで暮らすのはかなりお金がかかります、そのため彼女は週3回、ペットショップでアルバイトをしています。これは彼女がとても気に入っている仕事です、なぜなら彼女は動物が大好きで、その世話をしたり、彼らと長時間一緒に過ごせたりするのが嬉しいからです。彼女もぜひ犬を1匹、またはせめて猫を1匹飼いたいものだと思っています。彼女が住んでいる建物では動物を飼うことは許されているのですが、彼女と同居している女の子のうち1人が、あいにく動物の毛のアレルギーなのです。でも、彼女がキエーティの両親の家に帰る週末には、リーザは両親と一緒に住んでいる猫のフーフィと遊べます。フーフィはリーザにとってもよくなついていて、彼女がやってくると彼女の後をどこへでもついていき、まるで子犬のようです。ローマはたしかにとっても美しい、活気や美術館博物館や芸術作品に満ちた町ですが、リーザは彼女の故郷のキエーティの方が好きです。あちらでは何もかもが大違いです。暮らしはより落ち着いているし、知り合い、親戚、昔からの友人がたくさんいます……。大学を終えたら、リーザはキエーティで仕事を見つけないかと希望しています。昔ながらの家に、両親と一緒に暮らすためにできれば戻りたいのです。家は美しい庭つきの一戸建て住宅で、とて

も広々としています。フーフィ以外にも、すでに他の動物がいます。クロという名前のウサギと、二匹のカメです。あそこに帰れば、彼女はついに犬が飼えることでしょう。自分だけの犬が……なんて素敵なことでしょう！ 彼女の両親も動物が大好きですから、彼らを説得するのは難しいことではないでしょう。

N50 a 【正答率】 83.1%

【訳】 リーザは大学で学んでいる

N51 b 【正答率】 85.0%

【訳】 彼女は1匹の猫と暮らしている

N52 b 【正答率】 84.8%

【訳】 彼女は毎日ある店で働いている